

## 川辺川ダム問題について

今までに多くの費用をかけ完成した代替地などを無駄にしな  
いためにもダムを完成させるべきである。

球磨川 中流域に住む住民の本当の気持ちを聞いて下さい。

この流域に住んでいる人はほとんど「ダムはいらない」と思っていると思います。

私は 今、3年半程、球磨村の渡、先日視察の行なわれた相良橋の側に住んでいます。

大雨の時何度か小さい子どもを連れて自主避難もしました。本流が目一杯になり内水が家の方に上がってきそうだからです。そんな時の急な増水は決して市房ダムの放流のサイレンの後です。今ではそんなダムのサイレンは「怖い音」になっています。特に恐いのは夜中の放流です。

いくらダムの洪水調整の為とは言え、下流住民を無視したダムの調節にはもうがまんできません。その上、もう一つダムを作って同じような事をするつもりですか？ 冗談ではないです。いらないダムを作って住民を苦しめるような事をいつまで続けるのでしょうか？ これ以上人工的な水位の上昇は、「住民の生命財産を守る、どころか、「失う」事になりませんか？

国は「ダムを作って 生命財産を守る」と言い続けてますが、今現在、守られるどころか 失っている人が、困っている人が いるではありませんか？

そんな声は無視しても 作るダム?? 住民はいらないと言っているのに、どうして本気で声を聞こうと思わないのでしょうか？

ある人は、初めて来たこの人吉球磨の地形を見て「ダムを作らなければ球磨川沿いに人は住めなくなる」と言いました。残念ですが、これが大ウソである事を住民は口にしないでわかっています。

何百年も前からこの土地に住む人がいて、町をつくり、何度も川の氾濫にあいながらも知恵と工夫でこの急流と住み続けているではありませんか。ある人の言われる事が、ただの御任着せの発言であることがよくわかり

ます。もちろん 熊本県のトップの方が一番 おわかりの事と思いますが、  
本気で県民の声、流域住民の声に出せない本当の気持ちも考える  
覚悟があるのなら、9月に出されるダムに対する判断は ひとつしか  
ないと思います。

もしも「川辺川にダムを作る」と言われるのなら、「球磨川流域には  
住むな!」と言っているのと同じです。

私は熊本が大好きです。人吉・球磨が大好きです。これからもここで  
この場所で、ずーっと笑って暮らして生きていきたいのです。

それだけです。

ダムは要らない。私達の生きていく場所を取り上げないで下さい。

9月を楽しみにしております。

## 賛成派

地元住民の方々は川辺川ダム建設を甚だ願っていると伺います。昭和40年代に発生した大洪水に~~甚~~<sup>甚</sup>大な被害を及ぼし、平成16年の年においても布町村で約2000人以上の方が避難され洪水の都度、不安と恐怖に苛まれておりました。

数年前私も賛成派として川辺川ダム検討会を傍聴しに行きました。賛成派はほぼ住民の方でしたが、反対派においては連方(非地元住民)の方が多かったです。

反対派の主張は毎日の様に、環境保全、魚類の減少、秋田のくた等の事でした。

確かに反対の意見をよく分かりますが、客観的に考えますと、~~人命~~<sup>人命</sup>と財産を守る事、その次に環境等の順番になると思います。特に連方の方々は実際に洪水の経験をした事はないのに川辺川ダムをそれほど反対するのがよく分かりませんでした。これからまた幾度か検討会が行われると思います。出来る限り地元の方々だけを検討された方がよいと思います。

最近、地振等による天災が突発的に起り人命が奪われる、ニュースなどをよく見ます。しかし残念にこれらに防ぎ様が無かったです。

それだけに事前に防ぎ様がある河川整備は絶対に必要不可欠です。

最後にぜひ早急に人命財産を守る為の川辺川ダム工事着手を願っております。

川辺川ダム建設について

今までの討論会などを傍聴しても、自然の事を考えてるのは  
わかりませんが、自己のアピールに使っているように聞こえます。  
公平な目で判断されて、ダムの早期完成を望みます。



球磨川改修計画の基本高水流量は、熊本県内は元より、全国の他の水系に比べて目標とする安全度が低いが、本当にこの計画規模でよいのでしょうか。

球磨川計画 80年に一度の洪水に対処するのに対し、全国の一級河川の平均的な目標値は100年に一度の洪水に対処する規模である。

このように、治水対策の目標とする基本高水流量は他水系での実績から見ても全く不自然さは無いと私は思います。

万が一そうであったとしても、球磨川の整備目標は全国平均より低い改修目標であることからすれば、反対派は結果的に自ら安全度は低くても良いと言っているに等しく滑稽千万な話である。

ダムの残事業は殆どが本体工事のみである。引き換え同じ安全度を確保するためには、ダムによる洪水低減量分を今後新たに球磨川河川改修で確保しなくてはならなくなるが、人吉地区の資産や観光資源など環境面も含め、総合的に判断すれば、球磨川の改修は限界である。

川辺川ダムの早期完成を期待します。

## 川辺川事業に関する県民の意見について

私はあさぎり町に住むものです。

私なりに思う意見を述べさせていただきます。

ダム事業に関して賛成であります。

理由は単純に世界的規模で異常気象が叫ばれる中、この球磨地方もいつ、ものすごい大雨が降るのか心配でなりません。私も川辺川流域に住む、親族・友人・知人が大勢います。その人たちの生命がまさに危機に面していると思います。

その危機を回避できる方法はダムによる治水であると私は強く認識しています。とにかく災害があつてからでは遅いんです。失ってしまつてからは後悔してもきれない計りしれない悲しみが残るだけではないでしょうか。環境も大事かもしれませんが人の生命よりも重たいものはありません。どうか一刻も早くダム建設に取り掛かってください。お願いします。生命を守るダムによる治水を願います。

知事、推進の御決断をどうかお願いします。



熊本県知事様

## 川辺川ダム事業に関する意見書

私は八代市に住んでおりますが、球磨川の上流で多く降った雨が下流の八代市に流れてきます。ダムの役割としては、治水が重要だと思います。八代市の安全の為に川辺川ダムは必要だと思います。

現在、流量が毎秒いくつとか言っておりますが、近年の気象現象を考えるとより安全な数値を使って考えるべきだと思います。県としては、県民の生命・財産を守る為に基盤整備を行うのが責務だと思います。川辺川ダム反対の人たちの無駄という主張もわかりますが、当事者・被害を受けかねない住民の主張を最優先するべきではないでしょうか。川辺川ダム反対の人たちの多数は、地元には関係のない人ではないでしょうか。私から見れば、政権・与党対野党の言い合いを川辺川ダム問題で争っているように見えます。私たち地元住民は安全に暮らせるためにダムの必要を言っているのです。川辺川ダム反対の人たちが、自分の子供が危険に会うかのしれない状況にいる場合、反対の主張は言わないのではないのでしょうか。仮に八代市で河川が氾濫した場合、誰が責任・補償してくれるのでしょうか？川辺川ダム反対の人たちが責任を持って頂けるのでしょうか？県が責任を取るのでしょうか？川辺川ダムは無駄があると言われますが、県民の生活を守るためには必要ではないでしょうか。

治水対策としては

ダムは必要だと思ふ

今さら中止にしたら

これまでの投次員が無駄に

なると思ふ

## 「川辺川ダム事業所に関する意見」について

私は、治水・利水両面から考えてダムは必要であると思います。賛成の理由として近年気温が上昇し。雨の降る量も短時間に大量の雨が降るようになってきていると感じております。国内・国外の状況を見ても各地で洪水の災害が発生していますし、先日の神戸の災害においても数十分で川の水位が1.0m以上上昇し、数名の人が亡くなりました。

川辺川・球磨川下流域も九州山脈に降った雨が流れ込みますので水位の上昇があり災害が起こりうる可能性が高いと考えます。災害を少しでも無くすためにはダムで水量調整を行うことは重要だと思えます。

利水の方も、温暖化に伴い水不足になることも十分考えられると思えます。

また、エコととりだたされていますし、石油も高騰しています。ダムによる水力発電もこれから重視されるべきではないでしょうか。

現在、主たる観光資源がない中ダムが出来ることによる経済効果も大きいと考えます。

確かに、ダム建設に伴い環境の悪化も生じるかもしれませんが、国の方も新技術を駆使して環境を少しでも壊さない方法を検討されていると思えます。

最後になりましたが、一番に考えなければいけないことは、ダムができることを信じて、住み慣れた土地および田畑を未練もあつたと思えますが、手放した方々の心情を察すれば、今になって「ダム建設反対」でよいのでしょうか。

環境破壊云々で「ダム建設反対」と簡単には言えないと考えます。

今、ダム建設を中止すれば税金の無駄遣いだったとなると思えます。

ダムが出来てこそ、税金が正当に使われたこととなると考えます。

以上のことから、治水・利水を含めダムは造るべきだと思えます。

川辺川ダム事業に関する意見書

ダムが環境に悪いから川を掘れば良いという考えには疑問がある。川を掘り尽くして排水路にしてしまうことが本当に環境によいのか。球磨川を排水路にしてしまうと、球磨川の魅力もなくなり、観光にも影響するのではないか。また、温泉旅館などの観光施設が川沿いに集中している人吉などでは、川幅を広げることは非現実的。

重要なのは観光資源を堤防用地のために移動させるなら、なにを守るための治水対策かわからない。

## 川辺川ダム事業に関する意見書

自分は川辺川ダムの建設に賛成派です。  
賛成理由としましては、以下の通りです。

1. 川辺川ダム建設及び関連工事における公共工事の増加。それに伴い建設業及び資材関係(一般的に考えて、末端まで数えるとかなりの人数がいるのでは?)の業者等の潤うことによる、熊本県全体の景気の底上げになるのでは?
2. 水不足地域における水不足の際に生活水の供給源等としても使用が出来るのでは?
3. 今のところ、治水としての機能が必要なのか?と問われているが、元々の治水予想範囲外の降雨及び天災の際に、川辺川下流域の八代市や五木村の方々の身辺の安否は確保できるのか?
4. また必要コストがかかりすぎるのであれば、川辺川ダムを一房ダムや緑川ダムのように、キャンプ場やレジャー施設等の作成及び整備を行い観光地の一貫として使用することにより、経済効果による収益等で、賄えないのか?
5. 環境問題に関しましては、今までのダム建設の例もありますので、多少の改善案も探せばあるのでは?  
またダムの代替案として川辺川の川底の浚渫工事、堤防のかさ上げの工事、どちらも環境的に問題があるのでは?  
更に川底の浚渫工事に至っては、我々一般市民の意見からすると、直接的に川底の土砂等を機械で干渉することにより、川辺川の生態系に直接の被害が出るのでは?

## 川辺川ダム事業に関する意見

川辺川ダムの建設に伴い、五木村の頭地地区付近の代替え工事や国道の付け替え工事等を行ったことにより、五木村そのものが私たちの身近な存在となり上流ではこうだ、下流ではこうだとかと言うようになったように思います。国道の整備、付け替えなどがなかったころは、私もですが何か遠い奥地のようなイメージでしかありませんでした。しかし、川辺川ダム関連工事により、身近になりこんなに自然が残っていた言うのを見ることができるようになったと思う。このような自然を守るためにもダム建設を反対するのではなくむしろ行いお互いに共存共栄ができるようなダム建設をした方が良いのではないか。また、観光地としても利用できるのではないか。

川辺川問題は長く年月がかかりすぎている。

現在ダム建設に反対している者は、当初五木村民が反対していたと王に、なぜ現在のように問題視して活動をしているのか疑問に思う。

五木村民は移住するがとして前向きに行動しているのに、今更その意見を無視する形をとろうとしている。反対するのは簡単だが、もっと直接的な影響を受ける住民の意見を聞いてほしい。

また、地球温暖化の問題となつていま今、将来大洪水が起きる可能性は大きい。

ダム建設は、治水だけでなく、災害対策としても有効ではないかと考える。

「緑のダム」では間に合わない。

私たちの命は守れない。

よって、ダム建設に賛成します。

。私の姉は人吉の下青井に住んでいます。多量の雨が降ると水害に被害。だから上流にダムを造ってほしいです。  
(何度も人吉に行っています。)

。ダムの最大の問題は下流の人の安全のために、上流の人を犠牲にしている。家屋崩壊などを強いられます。

しかし、川辺川にダムの場合、水没地域の家屋崩壊はほとんど完了しているのだから、あとで実際にダムを造りだせば今さら中止したらこれまでの投資が無駄になるのでは……

。私の個人の思いとして、なんで今頃この問題を取り上げたのか、あとく出来ないものを早く造るべきではなかろうか、五水からり村した人達は何を思っているのか!

住みかねた土地を離れて生活するのはたいへんな事だと思ったり、

もっと早くダムを造るべきだと  
私も思っています。



## 「川辺川ダム事業に関する意見」

近年の異常気象による災害も発生しています。また、その災害によって命を落とされた方も少なくありません。

このような、自然災害から、尊い命を守り災害を最小限におさえる事が出来ると思います。

また、建設業に就労されている方が多い為、川辺川ダム建設により、地域の活性化にも繋がると思います。

## 川辺川ダム問題に関する意見について

川辺川ダム建設について、洪水調整等の治水機能を考えた場合、  
どうしても必要なダムとなるので早期の完成を望みます。

々	で	て	て	30	の	い	の	を	竹	の	で	れ	人
を	し	い	ダ	年	本	方	事	今	地	実	移	て	吉
お	ま	る	ム	前	体	々	を	で	区	家	住	い	に
も	う	は	を	の	着	が	さ	も	に	は	さ	る	住
う	の	ず	作	相	工	討	し	お	水	相	れ	人	ん
と	を	で	ら	良	を	論	あ	ほ	没	良	た	達	で
ダ	苦	す	な	村	遅	会	い	え	地	村	人	の	い
ム	洪	。	い	五	れ	等	て	て	区	で	々	気	る
は	の	自	と	木	さ	で	人	い	よ	す	の	持	39
作	選	分	は	村	せ	反	吉	ま	リ	。	事	ち	オ
る	択	の	ど	か	て	対	。	す	移	25	を	が	で
べ	を	生	う	ら	い	論	ハ	。	住	年	か	わ	す
き	し	ま	い	の	る	を	代	水	さ	程	ん	か	。
だ	て	れ	う	現	の	唱	。	没	れ	前	が	り	私
と	ダ	育	事	在	を	え	そ	地	て	に	え	ま	は
私	ム	っ	だ	の	見	ら	の	区	こ	数	る	せ	ダ
は	建	た	と	変	る	れ	他	の	ら	名	と	ん	ム
孝	設	土	水	り	と	て	の	相	れ	の	胸	。	反
え	の	地	没	方	怒	。	水	良	て	同	が	水	対
ま	た	が	地	を	り	ム	没	村	大	級	痛	没	と
す	め	ダ	匠	見	さ	ダ	地	。	変	生	く	地	今
。	移	ム	の	る	え	に	区	五	苦	が	な	区	に
	住	の	方	と	覚	川	と	木	労	相	り	の	な
	さ	底	々	今	え	辺	関	村	さ	良	ま	涙	っ
	れ	に	は	に	ま	川	係	の	れ	村	す	を	て
	た	沈	思	な	す	ダ	の	人	た	の	。	の	言
	方	ん	。	。	。	ム	無	々	事	植	私	ん	わ

国が国土を破壊する

本五木村の人かとは、平穏な暮らしが国の政策で翻弄された。

下流域の生命と財産を奪うため」と国や県は村人に決断を急がせた。「補償額が争点

た。たんだん国は強うなつて住民の声は、届かぬようになつてしまつた。行政は住民が村内

で暮らし続けるようにしてほしかの要望に答へようとはせず、強引に計画を押し進める

だけじゃつた。山は村人の命の源だつた。村はダム造りを頼んだことはなかつた。

ムはおかしいと今でも思つてるが、和解は仕方がない選択だつた。村民が誰のためにか

をを受入れ、どんな思いをしてきたか、国は必

ずみだけ分つとるだらうかしら。知らん所にい

くもんレやなかつた。ダム計画がなかつたら

五木におつとおしれたのに。離村と郷愁のほがまにゆれる、懐想した人い

とは涙して再会する。本国交省は人目にかない溪流に砂防ダムを構築してゐる。川辺川の支流という支流は溪

谷に二百基の砂防ダムだ。森林の役割を考慮

せず、溪流美の破壊、川魚の生態系の分断、これが清流を濁し、水長期化し、負の遺産をつ

つてゆく。人家のない、道路にささきわりのいのに何んて必要か。

本一級河川は管理主体は「国土交通省」とい

うが、権限は流域住民、地域住民の負担によるものである。「政治は国民に奉仕するもの

と、この共通の認識がある。ダム建設には、人の権利や自然環境に及ぼす影響の行為について、結果は誰か責任をと

るかは霧の中である。結果を被るは住民だ。川辺川ダム計画の中の農業用水による国土

土地改良事業は、国農政の後退政策の対象農家がはなれた。現実に農業経営の見通しが

立たない状況にある。その上借金を抱える事業は、着工には要な同意を三分の二を満たさな

くなつた。農家の自己責任ではないのだ。公共性なく建設組織を維持しようとする裏面を阻止するんことを期待する。

る裏面を阻止するんことを期待する。

時間を経過ぎて、不安です。

このことを伝えるようにがんばります。